

床下配線用 **ELEC**床下水道用 **WATER**床下換気用 **AIR**

設置手順説明書



基本的な工事手順として、土台をのせる前にスリットマン関連設備工事を完了されるのがおすすめです。

基礎の上に土台をのせた後に、土台下のスキマにスリットマンを差し込む手順でも施工可能ですが、器具の設置や配線・配管のしやすさから、上記の手順のほうが仕事が早く簡単です。

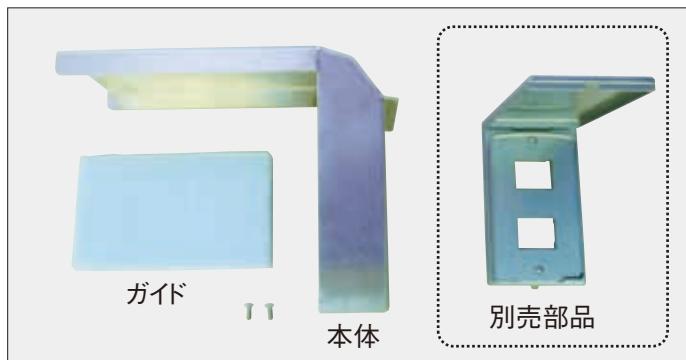


基礎と土台のスキマを
電気が通る。

SLITMAN™
ELEC

① 別売の外部コンセント用アタッチメントを用意する。

スリットマンELECには、本体と設置位置決めに役立つガイドが付属していますが、コンセントカバーなど別売の部品が必要となります。



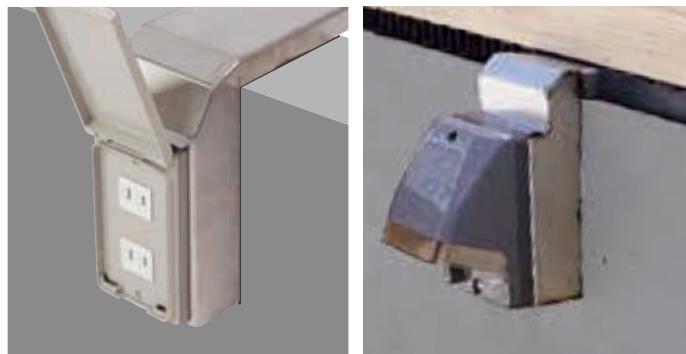
② スリットマンにアタッチメントを固定し、配線を完了する。

アタッチメントをネジ止めし、必要な周辺配線を行います。



③ スリットマンを予定の位置に設置し、固定する。

基礎の上の予定の位置にしっかりと取り付けます。



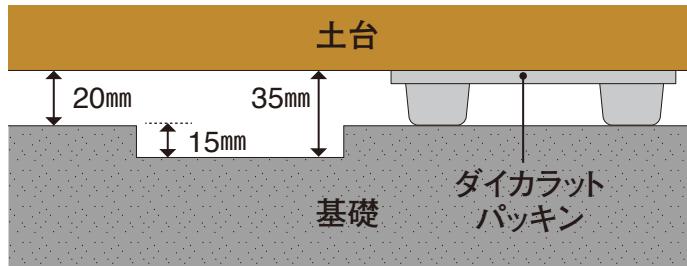
④ コンセントカバーを取付けて、設置完了。

最後にカバーをつければ出来上がりです。

基礎と土台のスキマを
水道が通る。

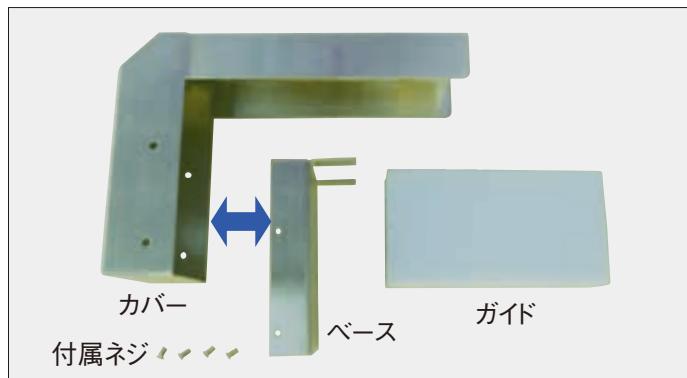
スリットマンの設置に先立って、基礎をあと約15mmの深さに切り欠く作業が必要です。

SLITMAN™
WATER 33mm高タイプ



① カバーとベースに分解する。

本体の両側面の4本のネジを外して、カバーからベースを引き抜いてください。他に設置位置決め用のガイドが付属していますが、その他の配管用部品は、別途で準備が必要です。



② エルボを固定し、配管

両ルーズエルボ使用の場合

分解したカバーの内側にエルボを固定します。メッキリングを締め付けた上で、リングをボルトで固定してください。



座付エルボ使用の場合

①で分解したベースにエルボを固定します。ベースの+マークに蛇口取付センターがくるよう位置決めをしてください。
ボルト止めした場合は、貫通した裏側への突出部分をサンダーで削る必要があります。



③ カバーを取付け、蛇口をセット

両ルーズエルボ使用の場合

ベースを基礎の予定位置に固定。これに配管・エルボ付のカバーをかぶせてネジ止めします。スペーサーをかまして蛇口を取付け完了。

座付エルボ使用の場合

配管・エルボ付ベースを基礎の位置に固定。これにカバーをかぶせてネジ止めします。最後に蛇口を取付けて完了。

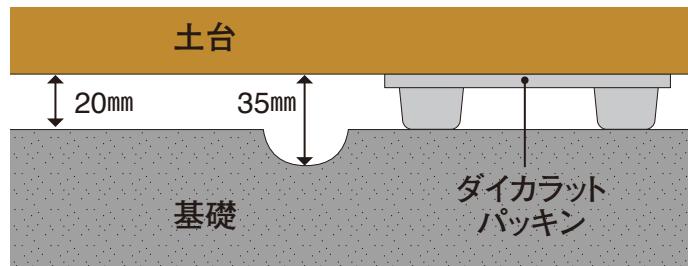


基礎と土台のスキマを
水道が通る。

塩ビ管使用の場合、配管部分の基礎を図のように少し切り欠く加工が必要です。

（アルミフレキシブル管使用の場合は、
土台下の20mmのスキマで、すべての
設置・配管が可能です。）

SLITMAN™
WATER 18mm高タイプ



① 水道用蛇口アタッチメントを用意する。

ボディには設置位置決め用のガイドが付属していますが、そのほかの配管用部品やカバーは別途ご準備が必要です。



② 座付エルボーを基礎に固定する。

塩ビ管、アルミフレキシブル管とともに、周辺配管を施した上で、基礎の予定の位置に固定します。



③ ボディをかぶせ、基礎に固定する。

蛇口取付位置のセンターを確認しながら、ボディをかぶせ、基礎に固定します。



④ カバーに穴をあけ、蛇口を取付ける。

カバーの蛇口取付位置に、Φ35mmまたはΦ38mmの穴あけ加工を施します。これを本体にネジ止めし、蛇口を取付けて完了。

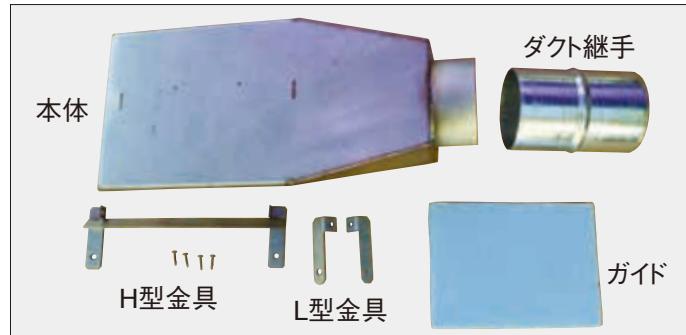


基礎と土台のスキマを
空気が通る。

SLITMAN
AIR

① スリットマンAIR一式を確認。

スリットマンAIR本体のほか、固定用H型金具×1、L型金具×2、それぞれの取付ネジ×4、設置位置決め用のガイド、Φ100mmダクト継手が付属しています。
(排気口幅300mm、ダクトΦ150mmタイプにはダクト継手は不要です)



② 本体に固定用穴あけ加工。

ボディ本体側面にH型金具、L型金具を固定するためのネジ穴加工が計4ヶ所必要です。穴の位置は、本体の突き出し量、基礎の厚みによって決定してください。



③ 基礎の上にのせ、固定する。

②の穴に、H型とL型金具をネジ止めしたうえ、基礎の上にのせて予定位置に固定します。



④ ダクトを接続して完成。

ダクト、ファンなど周辺配管を行なって、工事完了です。

スリットマンの固定は、コンクリート用接着剤で必要かつ十分です。

スリットマン本体や関連機器の基礎への固定は、コンクリートボンドなどを使用。作業の大幅な効率アップがはかれます。さらに強固な固定を望まれる場合は、下穴をあけタッピングビスをご使用ください。

パッキンを使わず、基礎に直接土台をのせる工法にも使えます。



土台下にスキマはありませんが、基礎を打つ時にあらかじめスリットマン設置予定位置に、付属のガイド(スタイル口製)を利用して凹みを作つておけば、スキマなくピッタリとスリットマンを設置することができます。



コンクリート打設時に、ガイドのスタイル口を予定位置の基礎の上に埋め込む



養生後ガイドを外せば、それぞれのスリットマンにピッタリの幅と深さの凹みが完成

※製品の改良により仕様・寸法・価格等が予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

●壊れず、腐らず、健康快適に暮らせる木の家を――

コボット株式会社

〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目17番5-251

TEL 06-6379-2929・FAX 06-6323-5159

ホームページアドレス <http://www.cobot.co.jp>



取扱店